Panasonic®

保管用

施工説明書

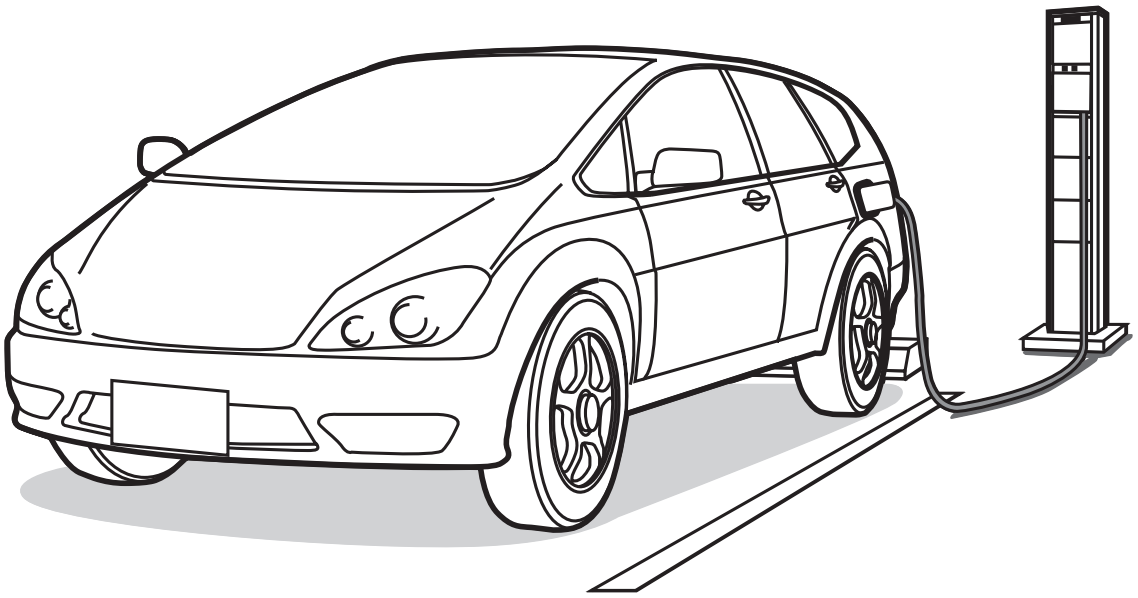
EV・PHEV充電用 充電スタンド

エルシーヴ

ELSEEV

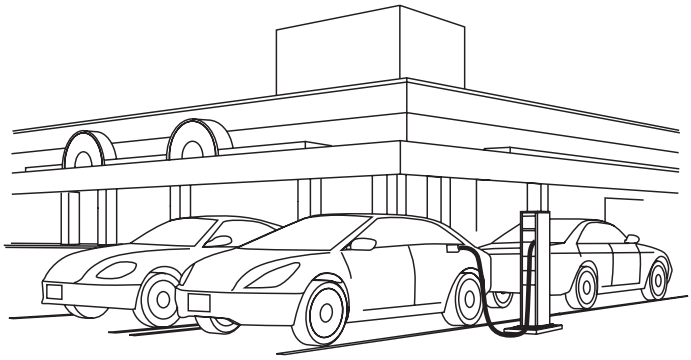
パブリックエリア向け

品番：DNE001K



■この施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
■据付工事の前に**「安全上のご注意」および「施工上のご注意」（2～3ページ）を必ずお読みください。**
■この施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
■この施工説明書は取扱説明書とともにお客様で保管していただくようにしてください。
■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

施工説明書、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書の内容を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無料修理の対象外となります。



もくじ

はじめに

安全上のご注意 …… 2
施工上のご注意 …… 3
製品構成と各部のなまえ …… 4
仕様 …… 5
外形寸法 …… 5

据え付け工事

基礎工事 …… 6
据え付け手順 …… 7

電気工事

電気配線工事 …… 9

動作確認

動作確認（引き渡し前の確認）…… 12

コンセントユニットの増設

コンセントユニットの増設 …… 13

交換作業

コンセントブロックの交換 …… 17
ブレーカの確認・操作 …… 19

施工確認

施工確認チェックリスト …… 裏表紙

安全上のご注意

お願い

当社では品質、信頼性の向上に努めていますが、一般的に金属製品は使用年月とともにさびなどの腐食が発生し、最終的に継続的使用が困難な状態（寿命）が生じます。

またコンセントについても一般的に挿き抜し回数によって継続的使用が困難な状態（寿命）が発生します。

本製品も同様に使用条件、使用場所で異なりますが、本体については建柱後 10 年程度経過すると劣化が進みますので、更に長くご使用いただくためお客様ご自身で定期点検表の点検頻度に基づき必ず定期的に点検してください。

またコンセントおよびコンセントユニットについては 3 年に 1 回交換してください。

異常や不具合がありましたら、施工工事店までご連絡ください。

また本製品はお客様の大切な財産です。確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

必ずお守りください

施工上のご注意

⚠ 警告

禁止	●電気自動車およびプラグインハイブリッド車の充電用途以外で使用しない 感電・火災の原因となります。
	●活線工事はしない 感電の原因となります。
	●充電スタンド本体内での分岐配線はしない 火災の原因となります。
	●製品の分解･穴をあけるなどの改造はしない（裏板（下）の穴あけ加工は除く） 感電・火災の原因となります。
	●可燃性ガスや引火物の近くに設置しない 火災の原因となります。
	●冠水するところには設置しない 感電、漏電事故の原因となります。
	●コンセントユニットは､充電スタンド本体への増設･交換専用です。それ以外の用途では使用しない 感電、漏電事故の原因となります。
必ず守る	●施工は、施工説明書通りに正確に行う 転倒の原因となります。
	●本体にはD種接地工事を行う 感電の原因となります。
	●必ず１回路ごとに漏電ブレーカを設置する 感電の原因となります。
	●漏電ブレーカの動作を確認する 感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止	●当社指定部品以外の取り付けは行わない 強度不足など不具合が発生する原因となります。
	●製品の上に乗ったり、もたれかからない 転倒してけがをしたり､製品が破損する原因となります。
	●絶縁抵抗計（メガー）を極間で使用しない 極間に電子部品が接続されており、製品が破損する原因となります。
必ず守る	●荷崩れしないように保管する 荷崩れしてけがの原因となります。
	●工事作業中は､手袋などの保護具を着用する けがをする原因となります。
	●運搬､設置の際は周囲の安全を十分確認する 落下、転倒によるけがの原因となります。
	●コンクリート基礎は乾くまで十分養生する 傾きの発生や転倒の原因となります。
	●動物などの排泄物が付着することが考えられる場合は、点検サイクルを短くし、安全確認を行う
	●地際部には植栽などの土がかからないように管理する。 さびなどの腐食が促進され､製品倒壊の原因となります。

●次の場所には設置しないでください。
- 正しい基礎工事がされていない場所。
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所。
- 風速 40 m/s 以上の強風が吹く場所。
- 使用温度範囲を超えるおそれのある地域。

●車のぶつかるような場所をさけて設置してください。

●車が通るところに設置する場合は必ず防護柵や車止めなどを設置して、充電スタンド本体への衝突対策をしてください。

●コンセントユニットを増設する場合は、
あらかじめ増設台数分の先行配管が必要です。
（露出配管する場合を除く）
増設するときは、別途コンセントユニットとそれぞれの漏電ブレーカをご準備ください。（13 ページ参照）

●取付ベースの固定には、おねじ式のステンレス製アンカーボルトをご使用ください。

●裏板を外して作業を行うので、背面に 600 mm 以上の作業スペースを確保して設置してください。

●配線工事は、必ず「電気工事士」の資格のある方が施工してください。

●配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規程」に基づいて施工してください。

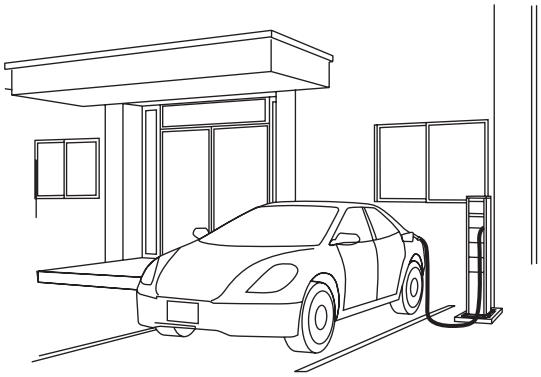
●配線は、地中埋設工事になりますので、300 mm以上埋設し必ずケーブル・保護管を使用し､地中での接続はしないでください。（露出配管する場合を除く）
また車両その他重量物による圧力がかかる地中埋設工事は、JIS C 3653（電力用ケーブルの地中埋設の施工方法）によって施工してください。

●傷は腐食の原因となりますので、必ず補修塗料などで防さび処理をしてください。

●本製品に落下など強い衝撃を加えると故障、傷の原因となりますので丁寧に扱ってください。

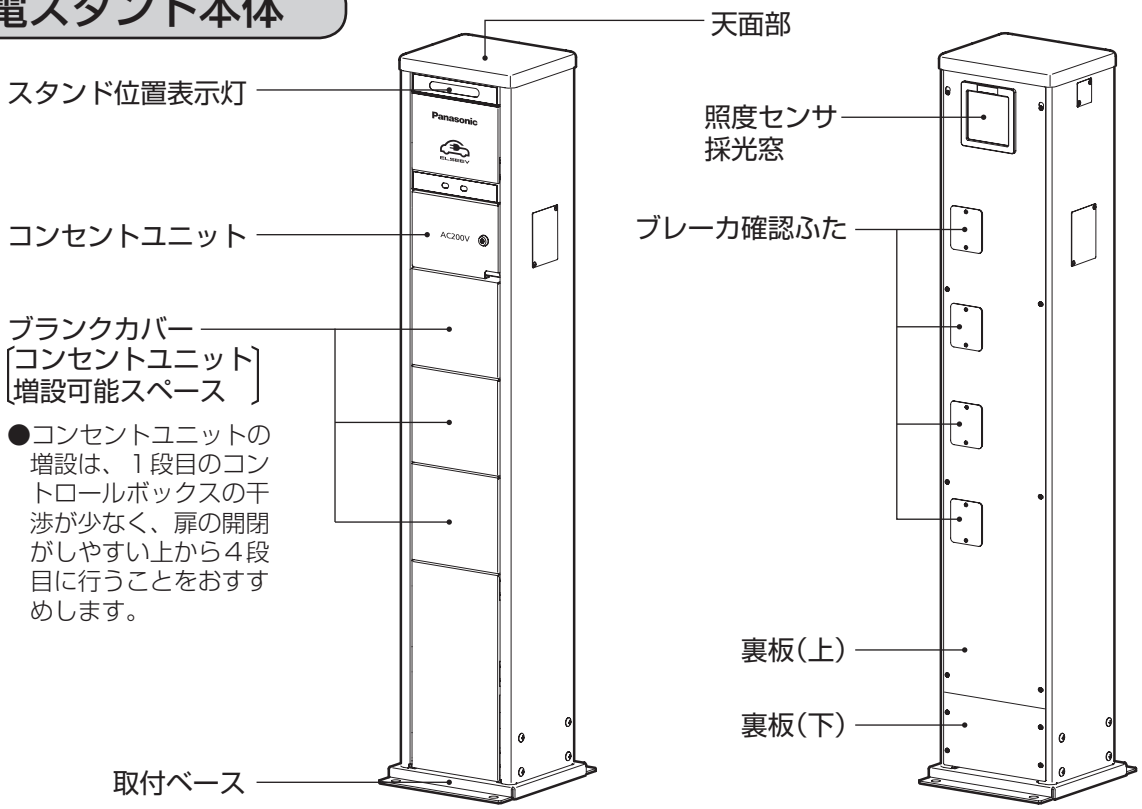
●開梱作業時は、刃物などで製品に傷をつけないよう十分に気をつけてください。

●施工後、鍵および特殊工具は、取扱説明書・施工説明書とともに、お客様にお渡しください。



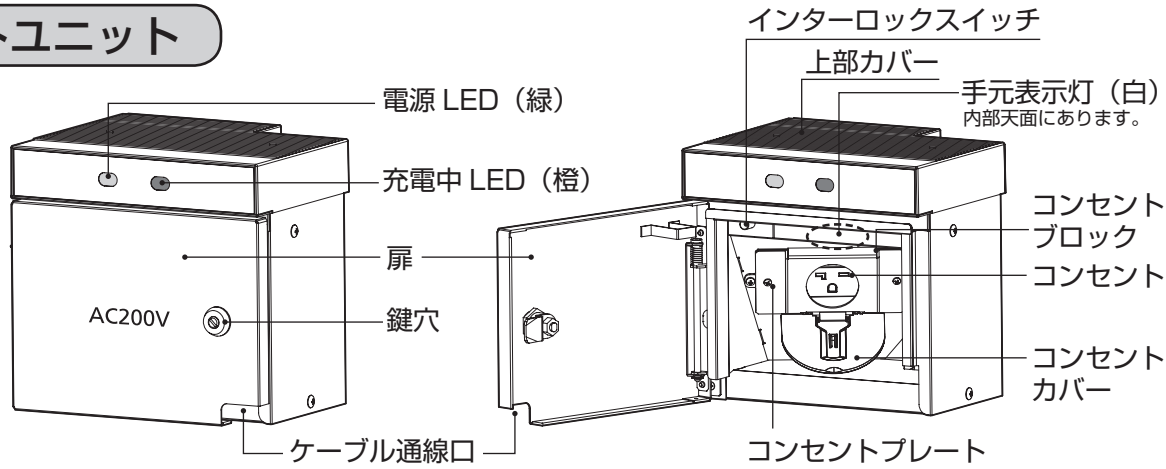
製品構成と各部のなまえ

充電スタンド本体



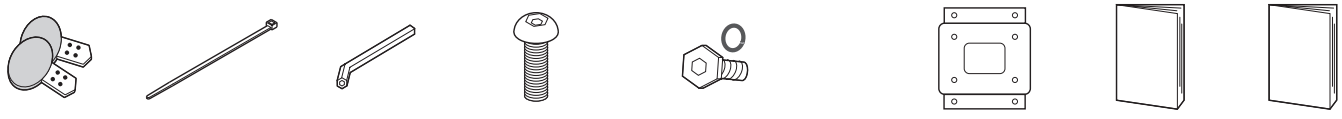
《正面》　《背面》

コンセントユニット



《扉を閉じたところ》　《扉を開けたところ》

その他同梱品



鍵（2個）	結束バンド（1個）	特殊工具（1個）	特殊ねじ（12個）	【本体−ベース固定用】M10六角ボルト スプリングワッシャ 各4個	取付ベース（1台）	取扱説明書（1部）	施工説明書（1部）（本紙）

仕様

■充電スタンド本体基本仕様

品番	DNE001K
コンセントユニット（標準装備）	AC200 V 50/60 Hz 20 A × 1 ユニット
使用温度範囲	− 10 ℃～+ 40 ℃
寸法（突起部含まず）	幅 280 mm ×奥行 230 mm ×高さ 1500 mm（取付ベース高さを含む）
質量	約 33 kg（取付ベース込み）
防水防塵	IP44 相当
設置方法	ベースプレート方式
設置場所	屋内・屋外

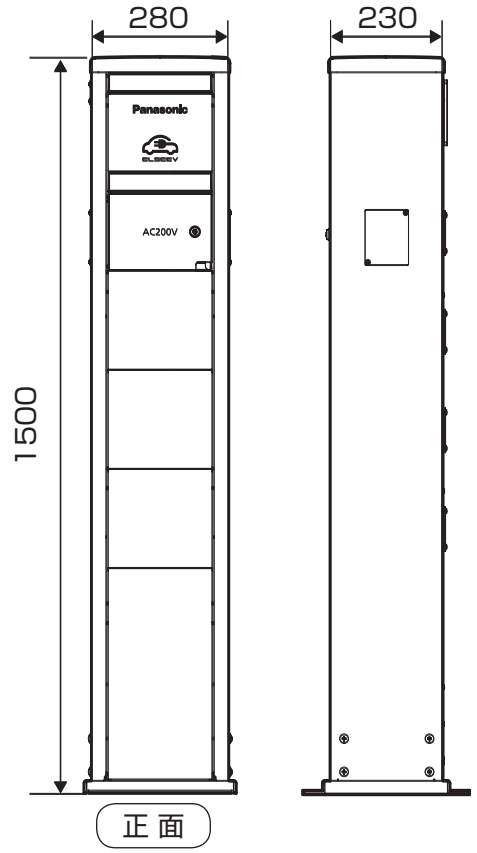
■コンセントユニット基本仕様

用途	200 V用	100 V用
品番	DNE201K	DNE101K
定格	AC200 V 20 A	AC100 V 15 A
使用温度範囲	− 10 ℃～+ 40 ℃	
質量	約 3.1 kg	
その他機能	鍵、インターロック、電源 LED、充電中 LED	

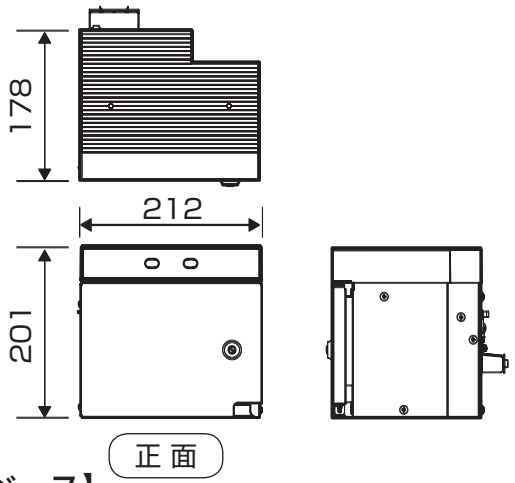
外形寸法（突起部含まず）

【単位：mm】

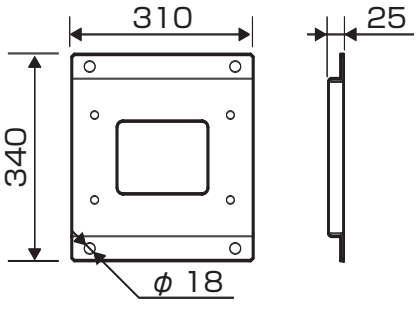
充電スタンド本体



コンセントユニット



【取付ベース】



基礎工事

【単位：mm】

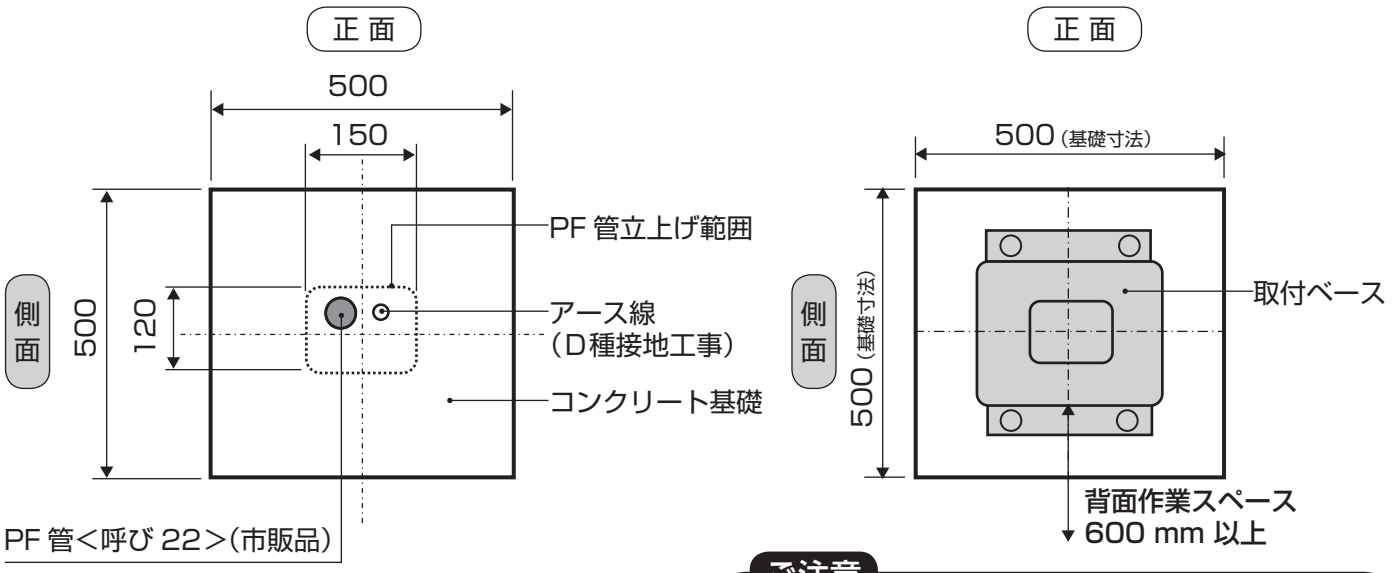
■コンクリート基礎工事

※コンクリート強度：160 kgf /cm² 以上

ご注意

- **コンセントユニットを増設する可能性がある場合は、あらかじめ増設台数分の PF 管を立ち上げておく必要があります。（露出配管する場合を除く）**
  （例）コンセントユニットを 2 台増設予定
  ⇒ PF 管 3 本立ち上げ
- **コンクリート基礎面は傾き1°以内で仕上げてください。**
- **地中埋設配線工事は、電気工事士の有資格者が「JIS」「内線規程」に従って施工してください。**
- **裏板を外して作業を行うので、背面に 600 mm 以上の作業スペースを確保して設置してください。**

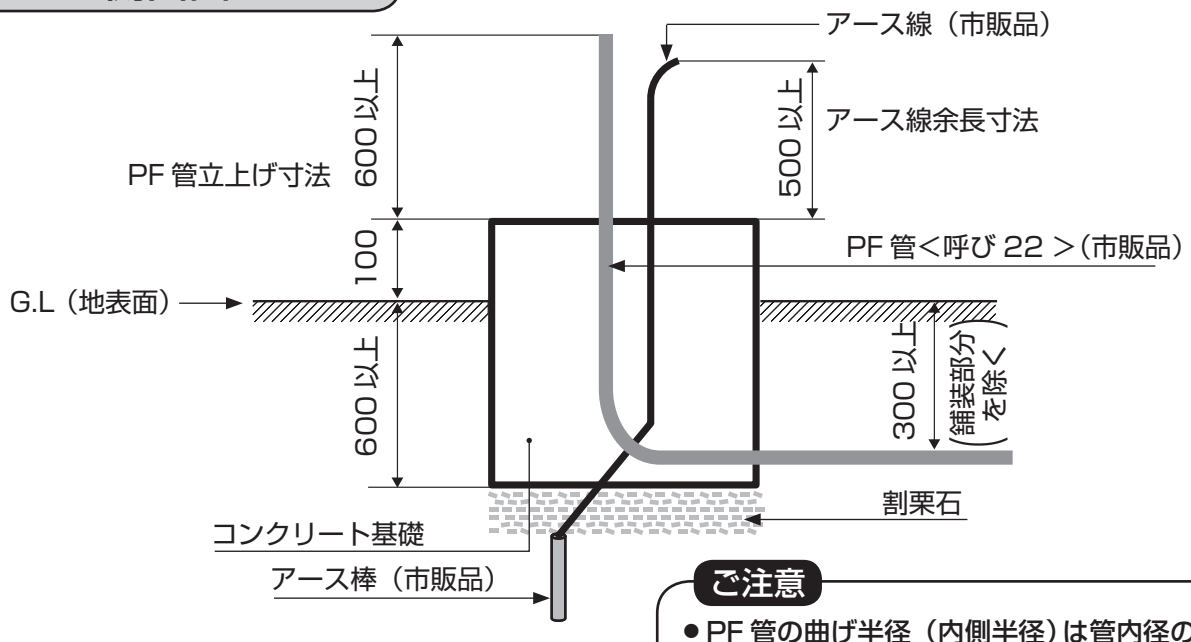
上面図



ご注意

- **PF 管は破線の範囲内で立ち上げてください。**
  範囲を超えると施工できません

側面図



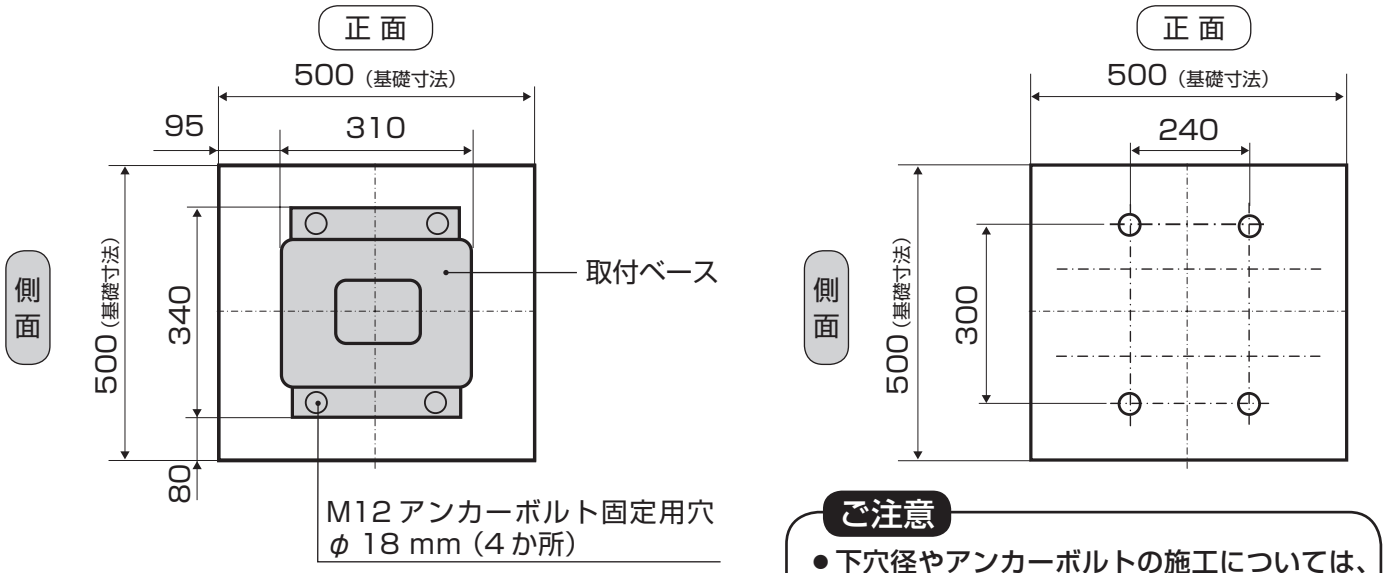
ご注意

- **PF 管の曲げ半径（内側半径）は管内径の 6 倍以上で曲げてください。**

据え付け手順

【単位：mm】

アンカーボルト施工寸法

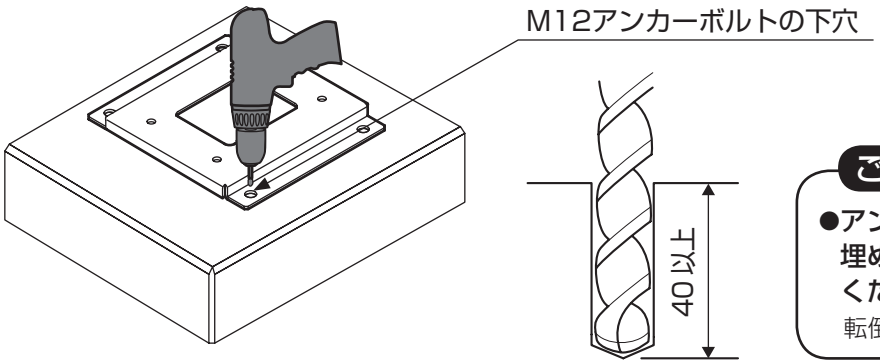


ご注意

- 下穴径やアンカーボルトの施工については、各メーカーの説明書に従ってください。

1 アンカーボルト打ち込み穴をあける

取付ベースを取付位置に仮置きし、穴をあける。

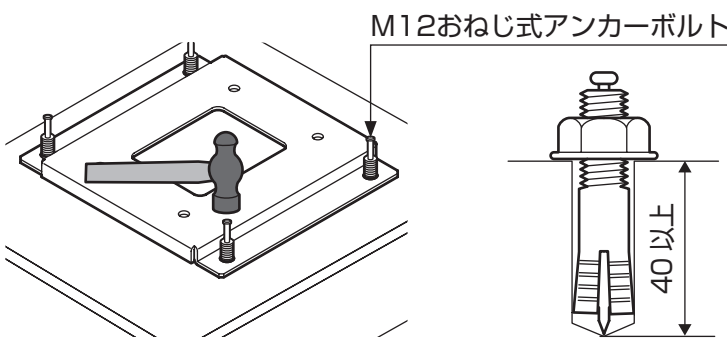


ご注意

- アンカーボルトを40mm以上埋め込めるように下穴をあけてください。
  転倒の原因になります

2 アンカーボルトを打ち込む

※アンカーボルトは当社では準備しておりません。
※オールアンカータイプ　ステンレス製（市販品）を推奨します。

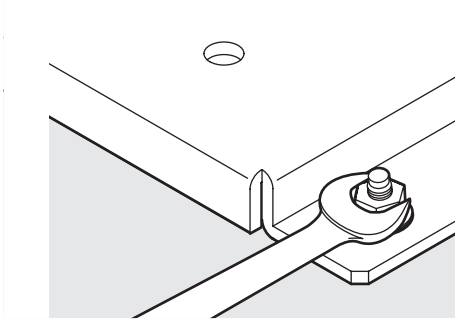


ご注意

- アンカーボルトは引抜強度300 kgf以上をご使用ください。
- アンカーボルトは40mm以上埋め込んでください。
  転倒の原因になります

3 取付ベースを固定する

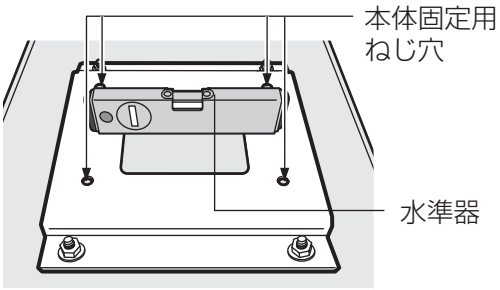
1. アンカーボルトを締めつける。



2. 水準器でレベルの確認をする。

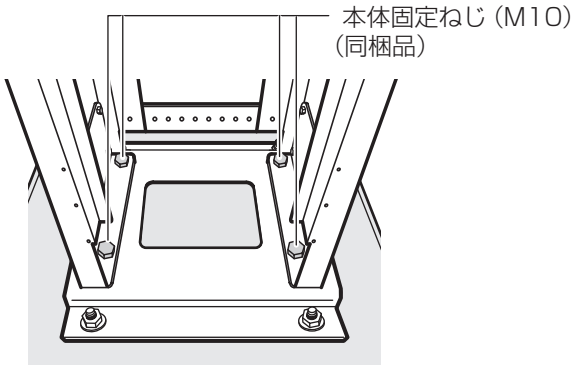
⇒レベル調整が必要な場合、シムなどで現場調整してください。

※締付トルクは、アンカーボルトの仕様をご確認ください。



4 充電スタンド本体を据え付ける

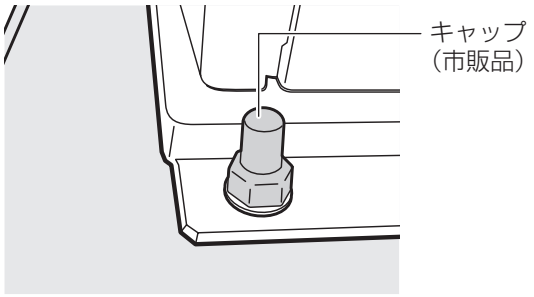
1. 裏板を外した状態で本体をベースに乗せ、裏面より本体固定ねじ（M10）で本体を固定する。



M10 標準締付トルク：17.6 N·m

2. アンカーボルトは防さび・安全のためキャップを取り付ける。

※キャップは市販のキャップをご利用ください。



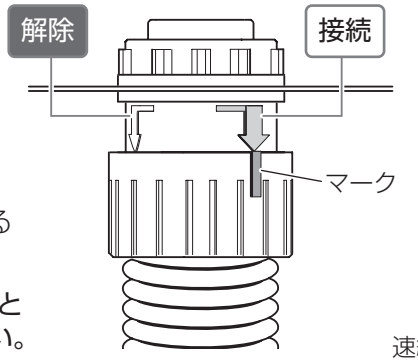
5 PF 管を接続する

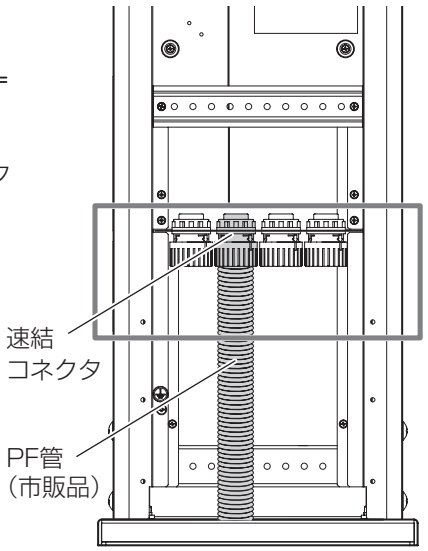
1. 配管長さに合わせ、PF管を切断する。

2. 速結コネクタのマークが接続の矢印位置にあることを確認し、PF管を差し込む。

※速結コネクタの管止めに先端が当たるまで差し込んでください。

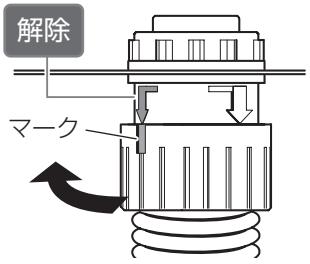
接続後、PF管を手前に引き、しっかりと接続されていることを確認してください。





速結コネクタの解除方法

マークを解除の矢印まで回してPF管を引き抜いてください。
解除後は、必ず元の接続の矢印までただちに戻してください。
（再使用できなくなるおそれがあります。）



電気配線工事

ご注意

- 配線工事は、「電気工事士」の資格がある方が、「電気設備の技術基準」、「内線規程」に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
- ブレーカは内蔵しておりませんので、現地にてご準備ください。
- 必ず 1 回路につき 1 個の漏電ブレーカを設置してください。
- D種接地工事（接地抵抗 100 Ω以下）を行なってください。
- 配線は十分に余長をとり、結束バンドで、適所に固定してください。
- 電源端子台への配線は確実に接続してください。

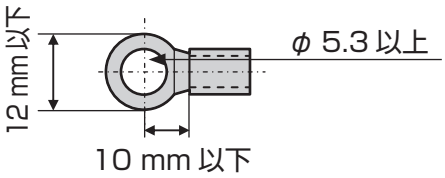
適合電線

下表の電線をご使用ください。

電源線 （VV 線）	【 単 線 】φ 2.6 mm（2 心） 【より線】5.5 mm²（2 心）	・分電盤から充電スタンド本体への配線 ・ブレーカから電源端子台への配線

※定格容量（200 V/20 A、100 V/15 A）を考慮した配線設計をしてください。

※より線を使用する場合は、
右図に適合する丸型圧着端子を
使用してください。



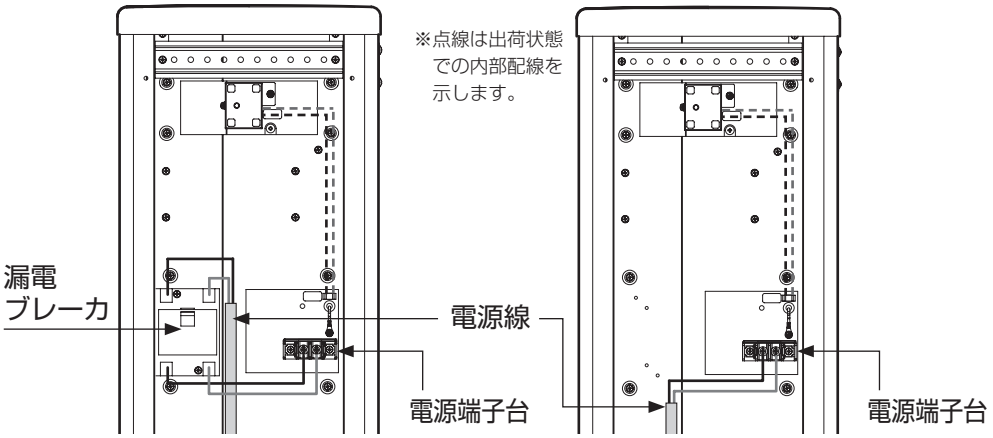
配線図

内部にブレーカを設置する場合

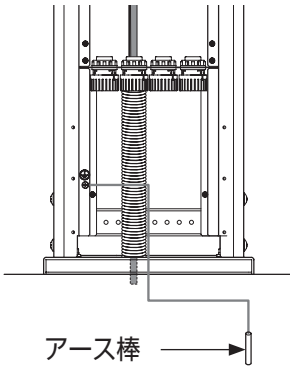
1. 分電盤からの配線を、ブレーカ（1 次側）に接続する。
2. ブレーカ(2次側)から電源端子台へ配線する。

内部にブレーカを設置しない場合

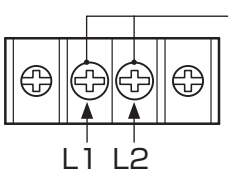
分電盤からの配線を､電源端子台に接続する。



■本体アース



■電源端子台拡大図

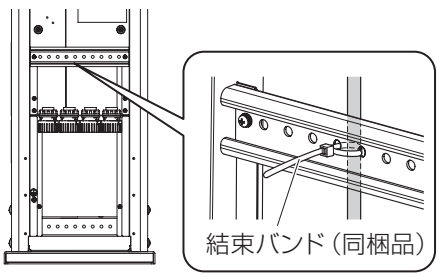


締付けトルク
2.0 N・m

ご注意

- 電源端子台への配線は、極性を確認の上、間違いがないように、確実にねじを締めてください。

■張力止めについて



1 次側電源線は結束バンドで電線を結束し､固定してください。
横桟には、結束バンドが固定できるように穴が開いています。

【単位：mm】

ブレーカの取り付け

ブレーカを充電スタンド本体内に設置する場合は下記寸法をご参照ください。

推奨漏電ブレーカ(分岐用)＜別売品＞

定格電流	感度電流	当社品番
20 A	15 mA	BJS2022N

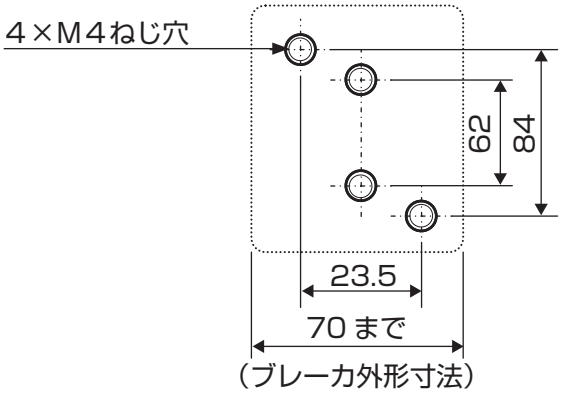
ご注意

- 充電スタンド本体内での分岐配線はできません。
- 必ず 1 回路につき 1 個の漏電ブレーカを設置してください。

※充電スタンド本体までの配線で、ブレーカがない場合は、充電スタンド本体内にブレーカを設置してください。

ブレーカ取付ピッチ

幅 70 mmまでのブレーカを取り付けることができます。



（ブレーカ外形寸法）

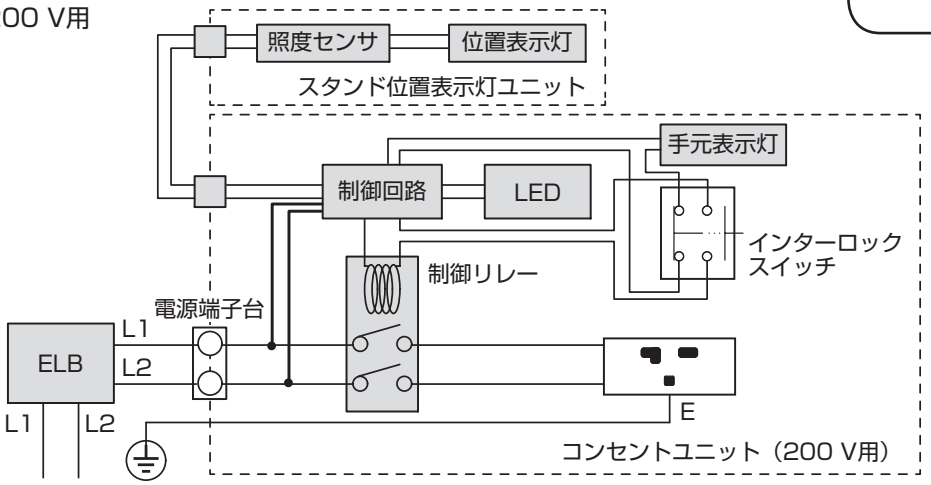
内部配線図

充電スタンド本体内は、下図のような内部配線となっております。

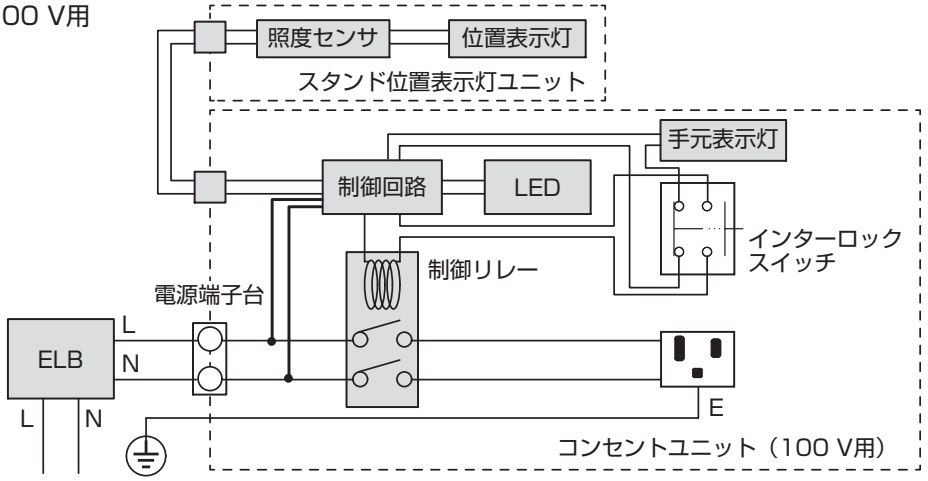
ご注意

- アース配線を必ず行う。

■200 V用



■100 V用



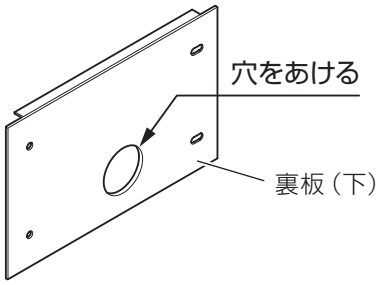
露出配管する場合

1 裏板（下）に穴をあける

接続する配管に適合した穴をあける。

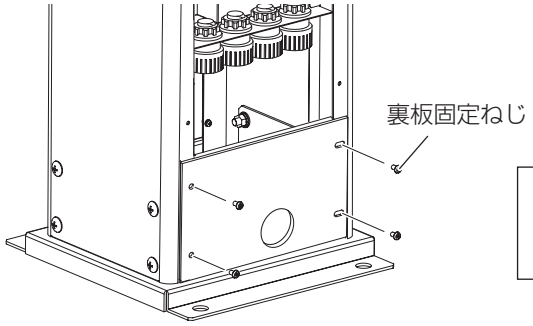
ご注意

- ●穴あけした部分は、電線を傷つけないようにヤスリなどで確実にバリを取り除いてください。
- ●穴あけした部分は、必ず防さび処理をしてください。



2 裏板（下）をねじ（4 か所）で固定する

※同梱の特殊工具を使用してください。

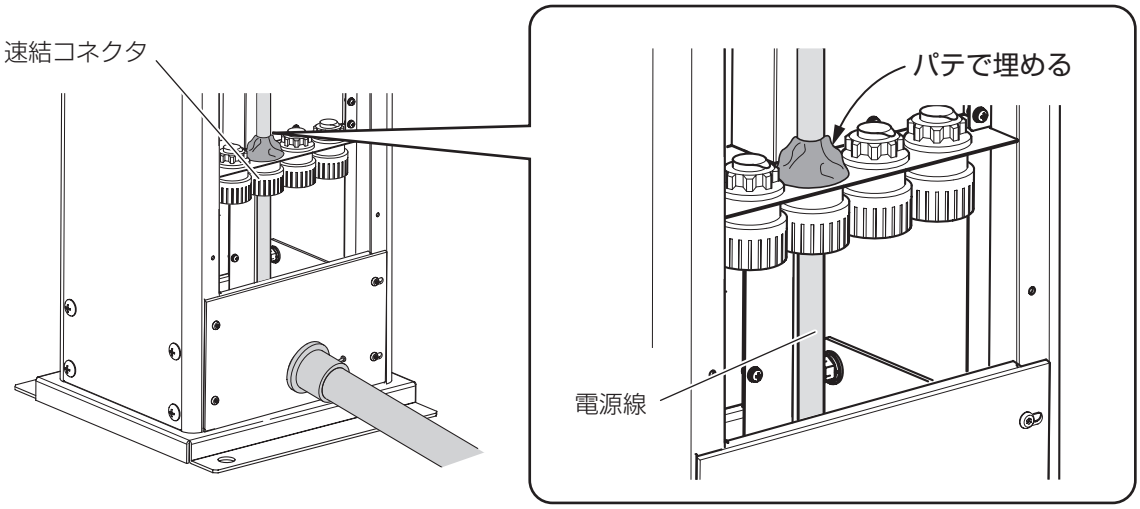


M5 × 10（ステンレス製）
特殊ねじ
締付トルク：2.4 N・m

3 配管を接続し、配線する

ご注意

- ●速結コネクタ上部をパテ埋めし、防水処理をしてください。

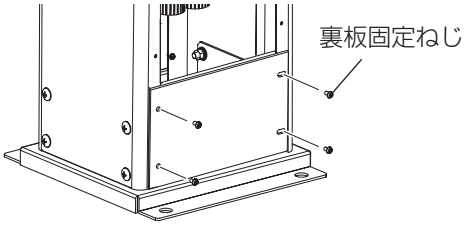


動作確認（引き渡し前の確認）

1 裏板（下）をねじ（4 か所）で取り付ける

※同梱の特殊工具を使用してください。

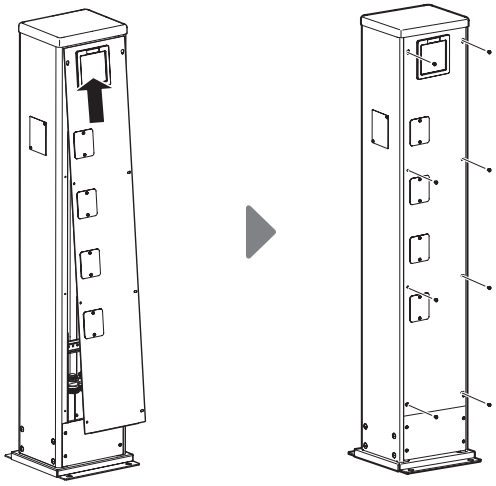
M5 × 10（ステンレス製）
特殊ねじ
締付トルク：2.4 N・m



2 裏板（上）を取り付ける

1. 裏板（上）を斜め上方向にずらして、天面部にはめ込む。
2. 同梱の特殊工具を使用し、裏板固定ねじ（8 か所）を取り付ける。

M5 × 10（ステンレス製）
特殊ねじ
締付トルク：2.4 N・m

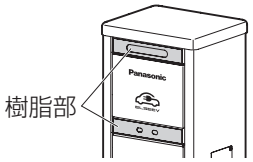


3 動作を確認する

施工完了後、巻末のチェックリストに基づいて、施工確認および動作確認を実施する。

4 スタンド位置表示灯、コンセントユニット表面の保護シートを取り外す

スタンド位置表示灯、コンセントユニットの樹脂部に貼ってある透明の保護シートを取り外す。



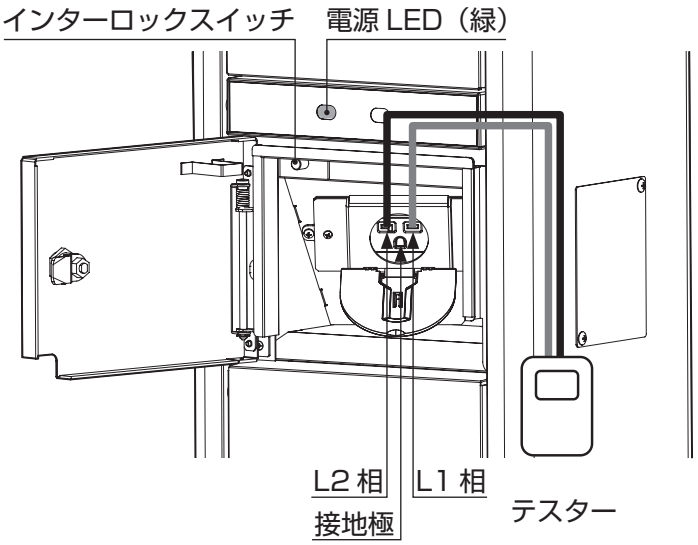
コンセントへの供給電圧確認方法

各コンセントユニットのブレーカを ON にして、動作を確認してください。

＜確認項目＞

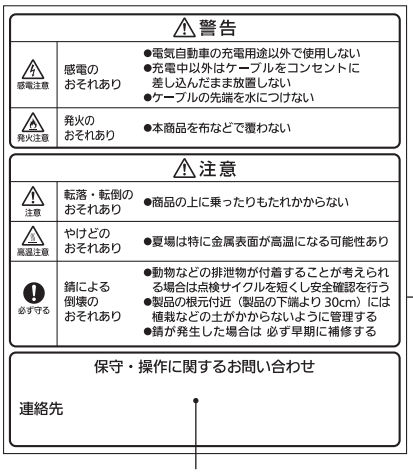
- コンセントユニットの扉を閉めた状態で電源 LED（緑）が点灯すること。
- コンセントの L1 相、L2 相にテスターを接続して扉を閉めたときに、定格電圧（AC200 V）が出力されていること。また扉を開けた時に電圧が 0 V であること。

※テスターを接続した状態で扉を閉められない場合は、インターロックスイッチを押して動作を確認してください。



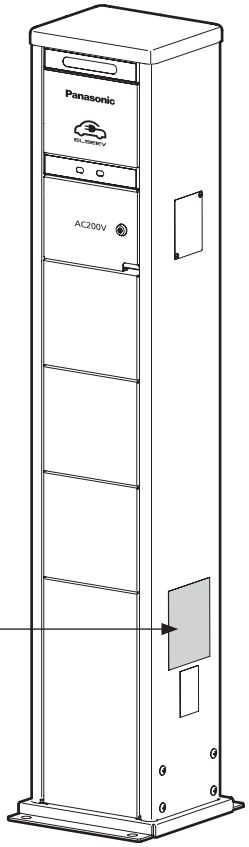
連絡先の記入

充電スタンド本体の側面に貼付されている ラベルの連絡先欄に、管理者様の連絡先を 記入する。



管理者様の連絡先をご記入ください。

【貼付位置】



コンセントユニットの増設

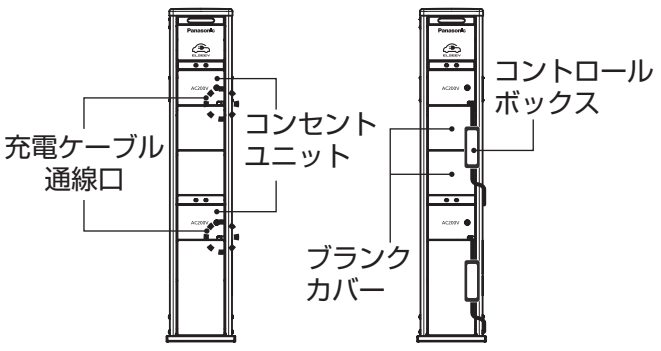
●コンセントユニットを増設する場合は、別途コンセントユニット 200 V 用（DNE201K）または 100 V 用（DNE101K）をお買い求めください。

●コンセントユニットの増設は、1段目のコントロールボックスの干渉が少なく、扉の開閉がしやすい上から4段目に行うことをおすすめします。

●本内容はコンセントユニットに同梱されている施工説明書にも記載されております。

ご注意

- **コンセントユニットは、充電スタンド本体への増設・交換専用です。それ以外の用途では使用しないでください。**
- **コンセントユニットの増設は、必ず「電気工事士」の資格のある方が行なってください。**
- **コンセントユニットを増設するには、あらかじめ予備配管がされているかご確認ください。配管が無い場合は、基礎工事をやり直す必要があります。（露出配管する場合を除く）**
- **コンセントユニット1台ごとに漏電ブレーカ1台を使用して、回路を保護してください。**
- **必ずメイン回路を遮断して工事してください。活線工事はしないでください。**
- **コンセントユニットの増設は、標準装備（上から1段目）のコンセントユニットに取り付けた充電ケーブルのコントロールボックスの位置を避けて4段目に行うことをおすすめします。~上から2段目･3段目へ増設した場合、1段目のコントロールボックスが干渉し、扉の開閉、充電作業がしづらくなる場合があります。**



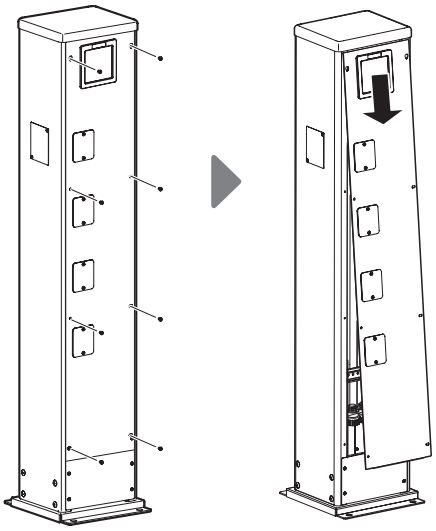
コンセントユニットの増設方法は 200 V 用、100 V 用共通です。

1 裏板（上）を外す

1. 同梱の特殊工具を使用し、裏板固定ねじ（8か所）を外す。
※上左右2か所の穴はダルマ穴になっていますので、
ねじを緩めることで裏板（上）を外すことができます。

2. 天面部に挿入されている裏板（上）を斜め下方向に
ずらして外す。

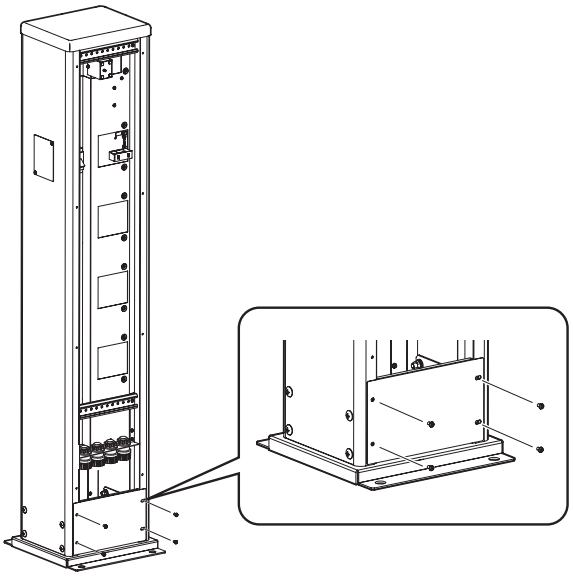
M5 × 10
（ステンレス製）
特殊ねじ



2 裏板（下）を外す

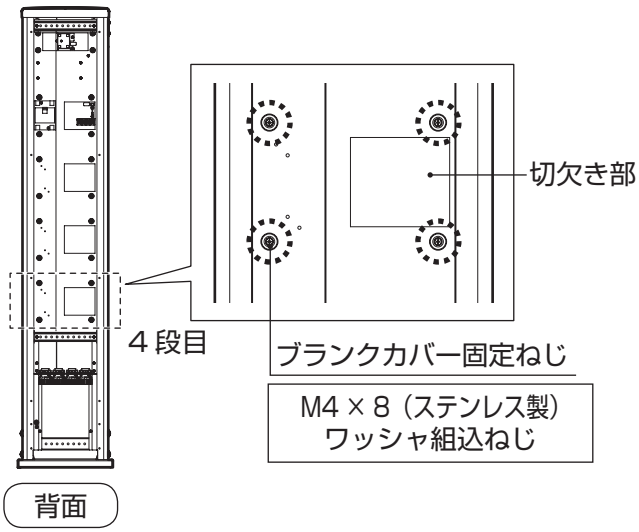
※同梱の特殊工具を使用し、裏板固定ねじ（4 か所）
を外してください。

M5 × 10
（ステンレス製）
特殊ねじ



3 ブランクカバー固定ねじを外す

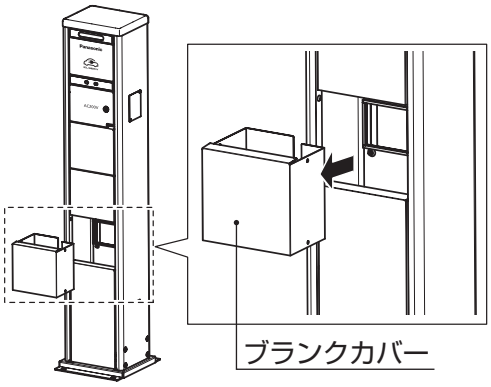
コンセントユニットを追加する場所のブランク
カバー固定ねじ（4か所）を外す。
（図は4段目に取り付ける場合を示します。）



4 正面からブランクカバーを取り外す

背面の切欠き部から押し出して正面からブランクカバーを外す。

※取り外したブランクカバーは、お客様にて保管してください。



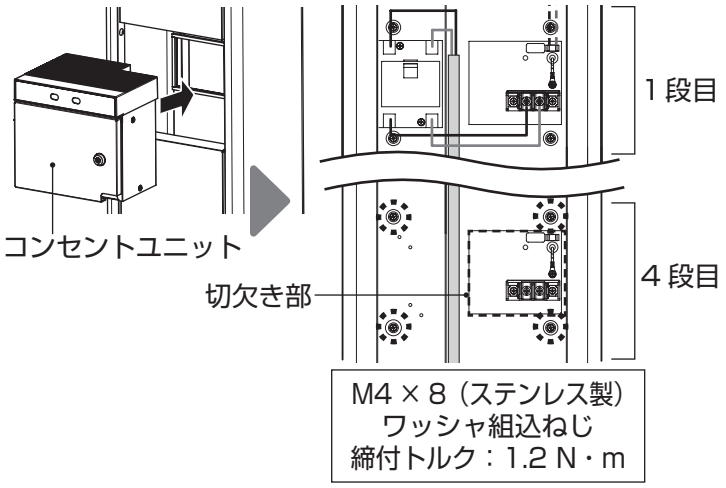
5 コンセントユニットを挿入する

追加するコンセントユニットを正面から挿入する。

6 コンセントユニットを固定する

電源端子台を切欠き部から突出させ、コンセントユニット固定ねじ（4か所）で固定する。

※コンセントユニット固定ねじは、コンセントユニットに同梱されています。



7 追加したコンセントユニットに配線を施工する

※結線は電源端子台拡大図をご確認の上、極相を間違わないように配線してください。

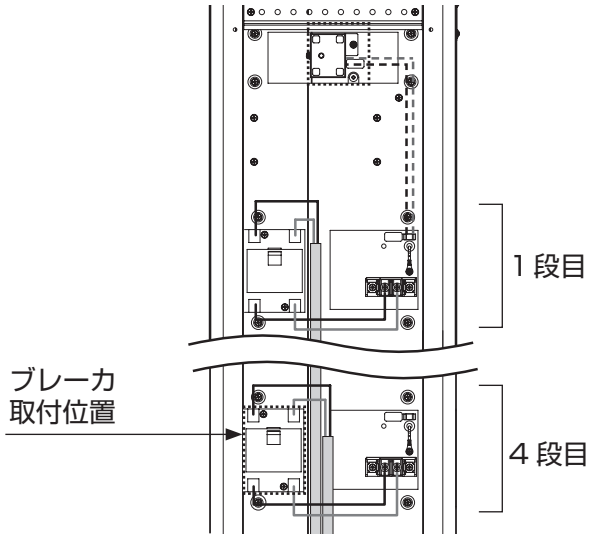
※ブレーカを内蔵する場合は、ブレーカ取付位置に取り付けてください。

※ブレーカを介した配線方法は右図をご確認ください。

ご注意

- **張力緩和のため、配線余長を十分にとり、結束バンドなどを使用して、横桟部に固定してください。**
- **電源端子台への配線は極性を確認の上、間違いがないように、確実にねじを締めてください。**

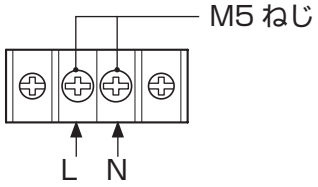
※定格容量（200 V/20 A、100 V/15 A）を考慮した配線設計をしてください。



■電源端子台拡大図

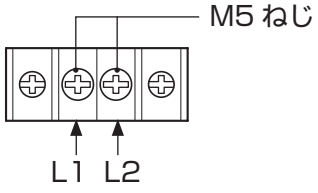
〈100 V 用〉

締付けトルク
2.0 N・m



〈200 V 用〉

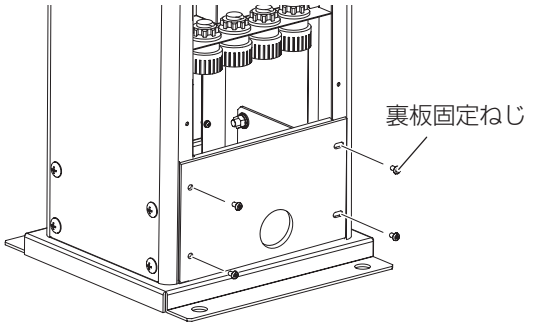
締付けトルク
2.0 N・m



8 裏板（下）をねじ（4 か所）で取り付ける

※同梱の特殊工具を使用してください。

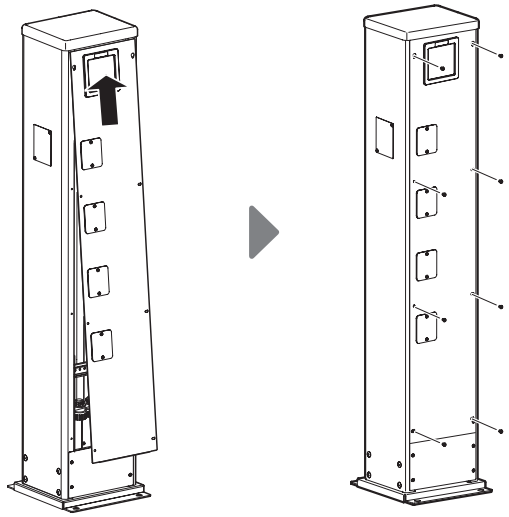
M5 × 10（ステンレス製）
特殊ねじ
締付トルク：2.4 N・m



9 裏板（上）を取り付ける

1. 裏板（上）を斜め上方向にすらして天面部にはめ込む。
2. 同梱の特殊工具を使用し、裏板固定ねじ（8か所）を取り付ける。

M5 × 10（ステンレス製）
特殊ねじ
締付トルク：2.4 N・m



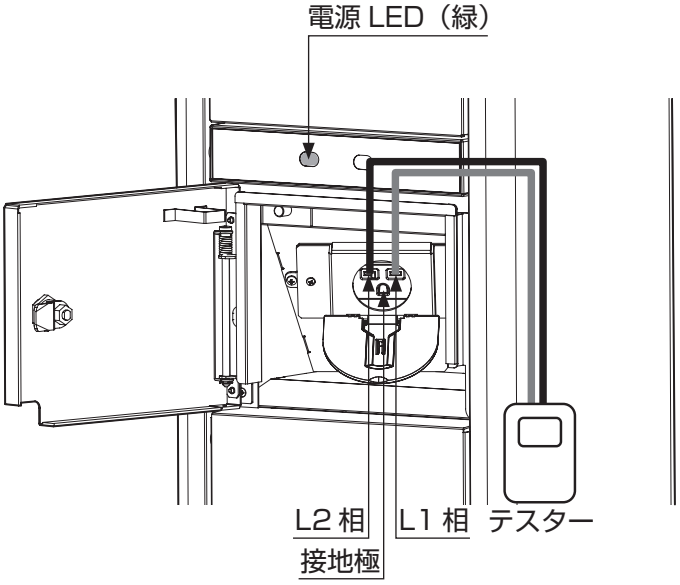
10 各コンセントユニットのブレーカを ON して、動作を確認する

＜確認項目＞

- コンセントユニットの扉を閉めた状態で電源 LED（緑）が点灯すること。
- コンセントの L1 相(L 相)、L2 相(N 相)にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧 AC200 V（または AC100 V）が出力されていること。
- 扉を開けた時に電圧が 0 V であること。

ご注意

- **本体にブレーカを取り付けた場合のブレーカの操作方法は 19 ページ「ブレーカの確認・操作」をご確認ください。**

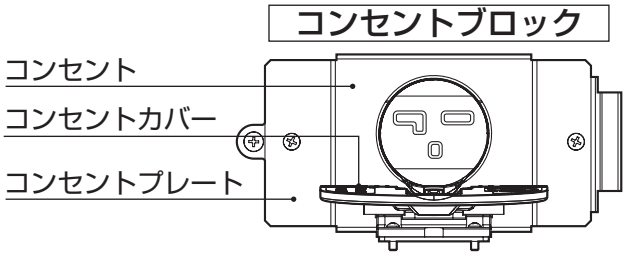


※図は 200 V 用の場合を示します

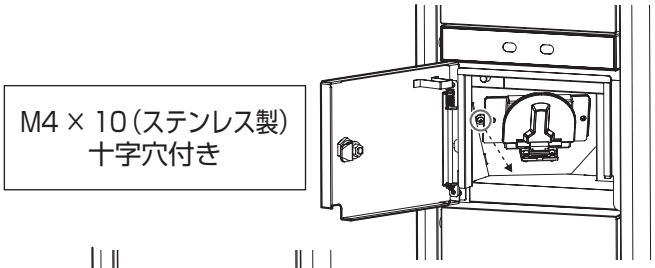
コンセントブロックの交換

ご注意

- コンセントの交換は、必ず「電気工事士」の資格のある方が行なってください。
- 必ずメイン回路を遮断し、活線工事はしないでください。

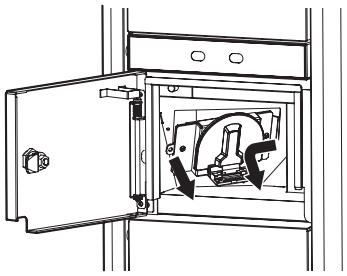


1 コンセントプレート固定ねじ（1 か所）を外す



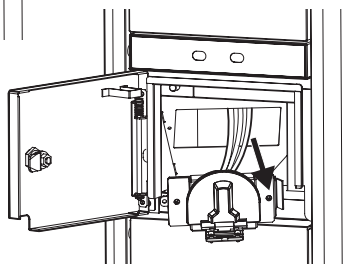
2 コンセントプレートを外す

コンセントプレートの引っ掛け部を外して手前方向に引き出す。



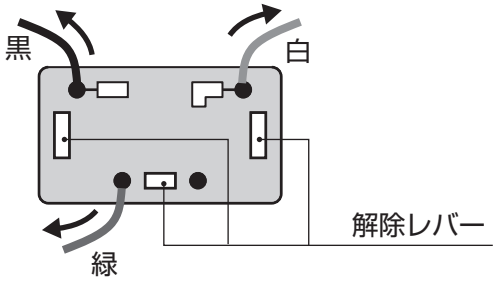
3 コンセントプレートをコンセントユニットから外に引き出す

結線された状態で、手前方向に引き出す。



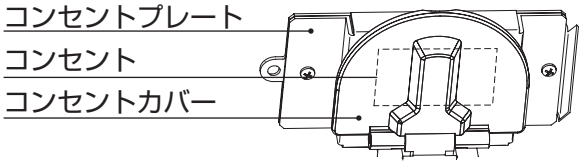
4 解除レバーを押して電線を外す

※電線には棒状圧着端子が接続されています。
電線を無理に引き抜かないでください。

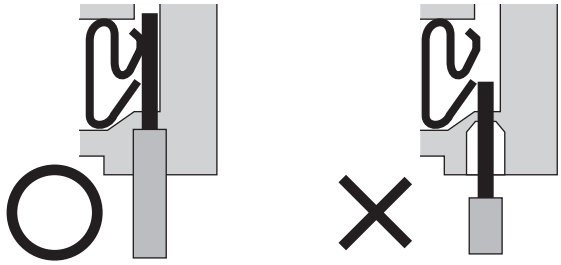


5 新しいコンセントに電線を挿入する

※電線を確実に奥まで差し込んで、固定してください。

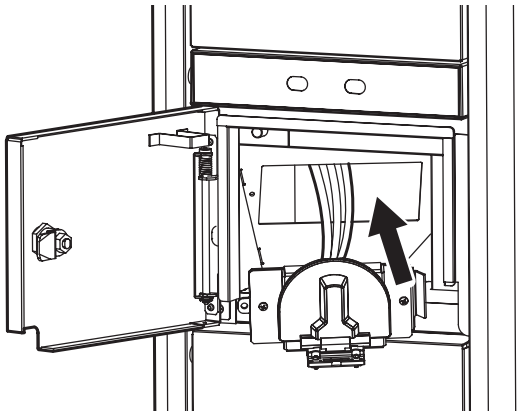


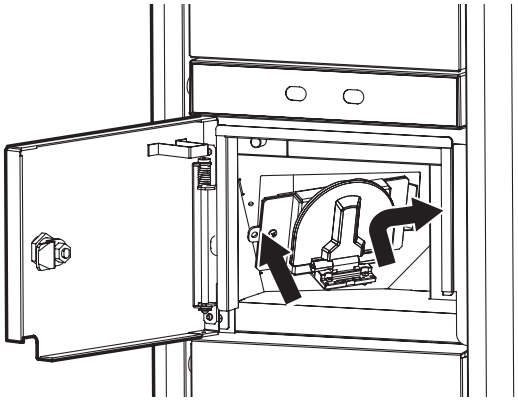
奥まで差し込む



6 コンセントプレートをコンセントユニットに収納する

1. 電線をコンセントユニット内部に収納する。
2. コンセントプレートの片側（図に向かって右側）を先に挿入し、もう一方を奥方向に収納する。





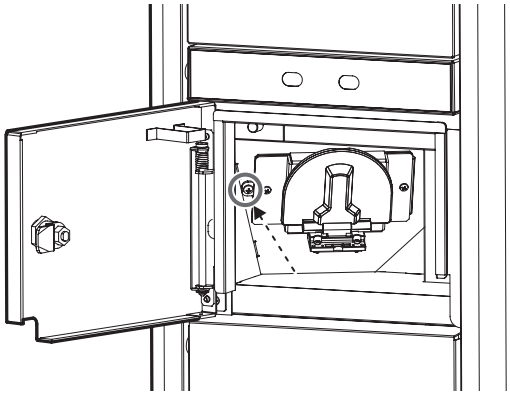
ご注意

- 内部配線に干渉しないように電線を収納してください。

7 コンセントプレート固定ねじで固定する

※電線が噛み込んでいないか確認してください。

M4 × 10（ステンレス製）
十字穴付き
締付トルク：1.2 N・m



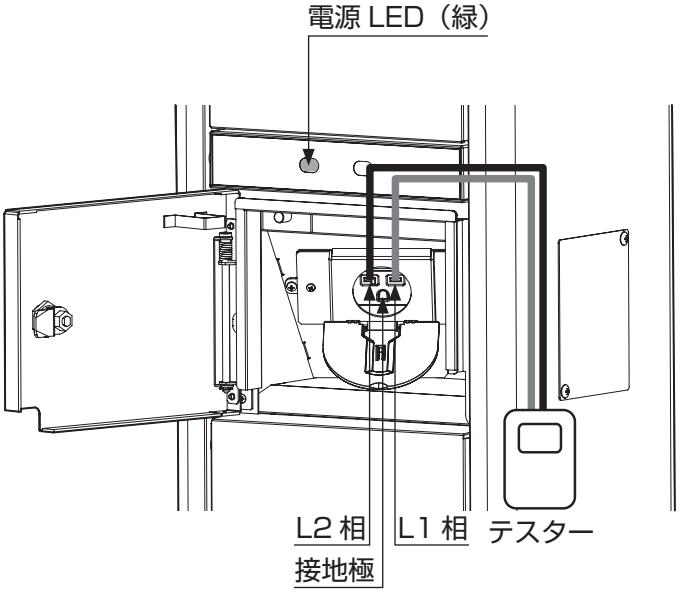
8 コンセントユニットのブレーカを ON し、動作を確認する

＜確認項目＞

- コンセントユニットの扉を閉めた状態で電源 LED（緑）が点灯すること。
- コンセントの L1 相（L 相）、L2 相（N 相）にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧 AC200 V（または AC100 V）が出力されていること。また扉を開けた時に電圧が 0 V であること。

ご注意

- 本体にブレーカを取り付けた場合のブレーカの操作方法は 19 ページ「ブレーカの確認・操作」をご確認ください。



※図は 200 V 用の場合を示します

ブレーカの確認・操作

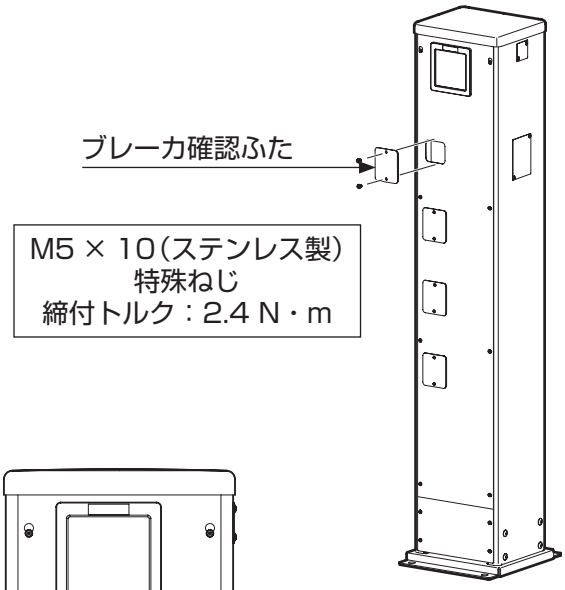
●充電スタンド本体内部にブレーカが設置されていてブレーカを ON ／ OFF したい場合、下記手順に従って確認・操作してください。

ご注意

● 不用意にブレーカ確認窓に手やドライバーを挿入しないでください。

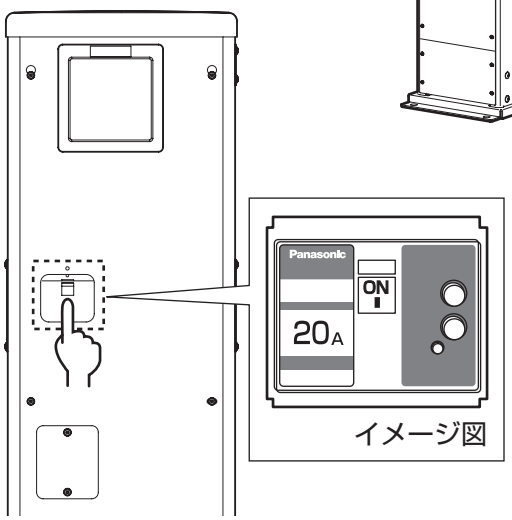
1 確認したい部位のブレーカ確認ふたを取り外す

※同梱の特殊工具を使用し、ブレーカ確認ふた固定ねじ（2 か所）を外してください。



2 ブレーカのON（またはＯＦＦ）操作を行う

※ブレーカ確認窓から手を入れ、ブレーカを操作してください。



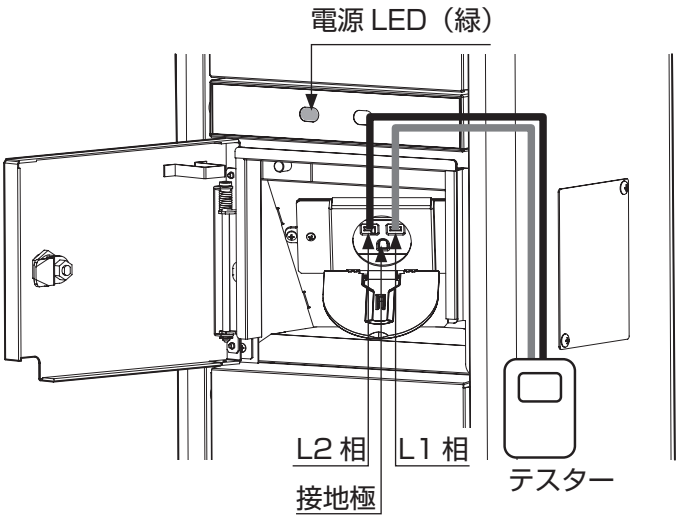
3 操作完了後、ふたを取り付ける

※同梱の特殊工具を使用し、ブレーカ確認ふた固定ねじ（2 か所）で固定してください。

4 【ブレーカをONにした場合】コンセントユニットの動作を確認する

＜確認項目＞

- コンセントユニットの扉を閉めた状態で電源 LED（緑）が点灯すること。
- コンセントの L1 相（L 相）、L2 相（N 相）にテスターを接続して扉を閉めた時に、定格電圧 AC200 V（または AC100 V）が出力されていること。また扉を開けた時に電圧が 0 V であること。



※図は 200 V 用の場合を示します

施工確認チェックリスト

据付工事後は、必ず下表にあげた項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず修正、修理を実施してください。

施設名:　　施工日:

施主名:　　工事店名:

施工責任者	施工担当者

【据え付け後のチェック項目】　　判定

基礎工事	1	コンクリート基礎面は傾き1°以内ですか？	
	2	コンクリート基礎寸法は施工説明書どおりですか？	
	3	配管・アース線の接続は施工説明書どおりですか？	
据え付け状態	1	アンカーボルトの埋め込み深さ（40mm以上）は適切ですか？	
	2	アンカーボルトは、確実に締め付けられていますか？	
	3	アンカーボルトにキャップがされていますか？	
	4	本体の固定ねじは確実に締め付けられていますか？	
	5	充電スタンド本体に傾きはないですか？	

【配線工事後のチェック項目】　　判定

配線工事	1	配線は正しく確実に配線されていますか？	
	2	アース線はD種接地工事がされていますか？	
	3	張力止めが施されていますか？	
	4	ブレーカの定格容量は正しいですか？	
引き渡し確認	1	電源LEDは正しく点灯していますか？	
	2	扉の施錠が確実にできますか？	
	3	コンセントユニットの扉を閉じた時、コンセントに定格電圧が供給されていますか？	
	4	充電スタンド本体の側面のラベルに連絡先が記入されていますか？	
	5	鍵番号を取扱説明書（11ページ）に記入しましたか？	

■本資料の記載内容は、平成 26 年 2 月現在のものです。
■製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市大字門真 1048 番地　TEL.(06)6908-1131＜代表＞
© Panasonic Corporation 2014
DNE001K-S15
DC1013-1024